**教科書の特色　「新編 現代の国語」（数研　現国・710）**

|  |  |
| --- | --- |
| **検討の観点** | **具体的な特色** |
| **⑴　学習指導要領との関係**  ・生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるような教材を選択している。  ・科目が目標とする資質・能力を育成するために適切な言語活動を用意している。  ・他教科との関連を考慮している。  ・中学校の学習から円滑に移行できるよう配慮している。 | ・「言葉を学ぶ」「言葉を使う」「資料編」の三編で構成され、どの編においても、現代の社会生活に関するテーマについて述べた文章、図表や資料を用いた文章など、さまざまな形式の文章が収録されている。  ・生徒の発達段階に適した教材を使用し、各教材末には、抽象的かつ論理的な思考を深めたり、目的に応じて表現したりするための具体的な言語活動が課題として掲げられ、指導が進めやすい内容になっている。  ・実社会の生活に即した言葉の意味や使い方を知り、言語を用いて自己の思考を深め、他者と言葉で関わり合う力を身につけられるようなコラムや資料が充実している。  ・理科の内容と関連がある題材（「科学と非科学」）が用意されているなど、教科融合的な学習ができるよう工夫されている。  ・中学校の学習内容を踏まえて、構成のわかりやすい説明的文章や親しみやすいイラストを掲載した文章を教科書前半に配置し、生徒の学習意欲を喚起するとともに、高等学校での学習を円滑に導入できるよう配慮されている。 |
| **⑵　分量・構成**  ・読解力と表現力の定着に適した分量の教材や解説が用意され、整理されている。  ・学習内容について、系統的、発展的に構成されている。  ・学習の参考になる写真、挿絵、資料などが適切に選ばれている。 | ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の能力を偏りなく養成するのに必要な量の教材が掲載されている。  ・各単元で学習する内容をまとめた単元扉が用意され、生徒が見通しをもって学習を進められるよう配慮されている。  ・「言葉を学ぶ」では、読解力と表現力を効果的に身につけられるよう、「話す・聞く」「書く」「読む」ことの学習内容を関連づけて単元が構成されている。  ・「言葉を使う」では、汎用的な言語能力を身につけるための基礎知識が解説され、「言葉を学ぶ」の内容と関連づけて相互に効果的な学習ができるように配慮されている。  ・「話す・聞く」「書く」ことに関する具体的な場面を設定し、身につけておきたい言語知識・技能を体系的に学習できるコラム（「チェックポイント」）が設けられている。  ・読解の助けとなり、知識の習得にもつながる写真や図版が豊富に掲載されており、また適切な位置に配置されている。  ・二次元コードを通じて、教材の理解を深めることができる「学習用コンテンツ」が多数用意されている。  ・国語的教養に関する「解説」、比較読解用の「探究の扉」など、参考となる資料が随所に掲載されている。 |
| **⑶　表記・表現及び使用上の便宜**  ・生徒の学習や理解を助ける表記、表現になっている。 | ・論理的文章、実用文それぞれの学習に適した文字の大きさ、行間になっている。  ・専門性の高い用語や解釈が難しい箇所には脚注が設けられ、生徒が学習しやすい内容になっている。  ・文章テーマに関する資料や、図版資料が豊富であり、授業での参照や学習の整理がしやすくなっている。 |
| **⑷　印刷・製本・その他**  ・学習に適した紙面、製本様式になっている。 | ・本文用紙は軽量で、開きやすい製本様式となっている。  ・ユニバーサルデザインの観点で配慮された色使い、穏やかな色味で学習に集中できる体裁になっている。 |
| **総合所見** | ・教材の質、分量ともに適切であり、論理的な思考・表現への意識を高め、実社会に必要な国語力を効果的に育成することができる。 |